

# 天井 - 内壁用 S X ( A X ) 4 5

## 下地仕上げ

1. 壁面と天井面のクリアランスは、図1, 表1のように仕上げてください。それぞれの規定値よりも狭い場合には変形性能が確保できなくなる場合があります。
2. 壁面の凹凸は極力避けて下さい。

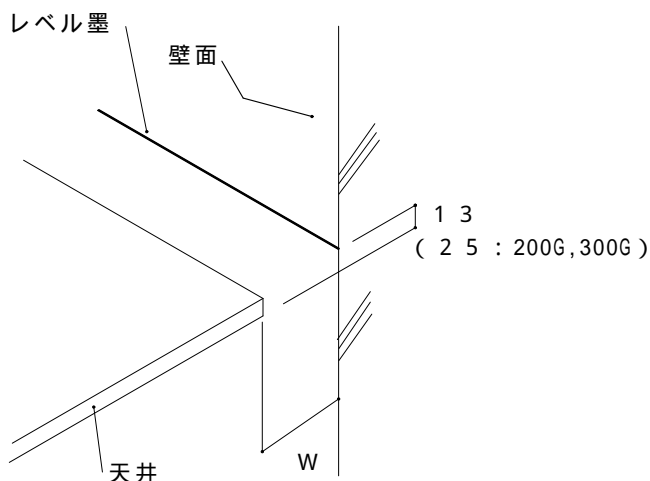


表1 . W寸法表

呼 称	W寸法
SX45 - 50F	65
SX45 - 100F	115
SX(AX)45 - 50G	50
- 100G	100
- 150G	150
- 200G	200
- 300G	300

図1

## 取付準備

製品は使用場所別に手配書の部番に合わせて梱包出荷されます。取付前に部品ユニットがすべて揃っていることを確認してください。

## 取付は次の順序で行ってください。

1. レベル墨打ち  
天井面を基準に13mm(25mm:200G,300G)の位置にレベル墨を打ちます。(図1)
2. ホルダー取付位置のマーキング  
ホルダー取付位置をマーキングしてください。(図2)取付ピッチは500mmです。

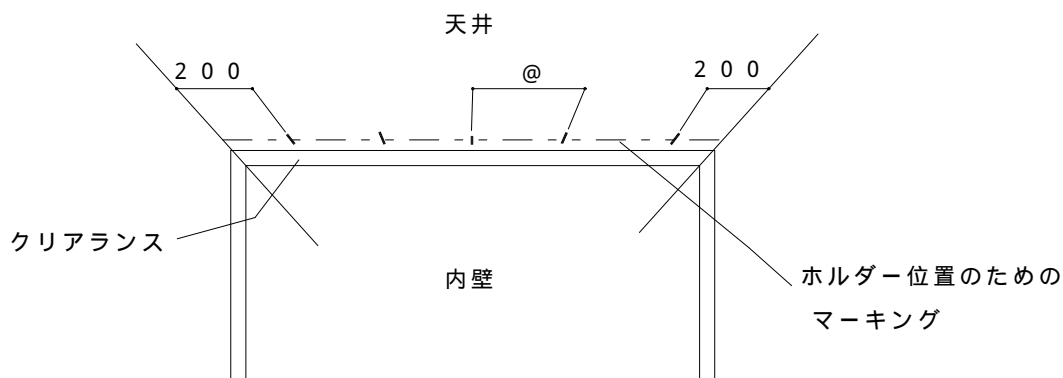


図2

### 3 - 1 . ホルダーユニットの取付

ホルダーユニットにあけられた穴をレベル墨に合わせ 6、深さ40mmの下穴をあけます。付属のフィッシャープラグを下穴に挿入し、固定ネジでホルダーユニットを固定します。(図3)

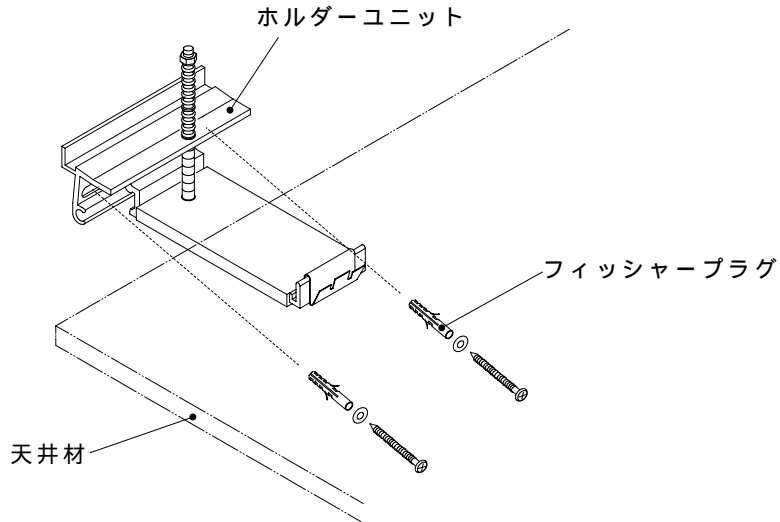


図 3

#### SX (AX) 45 - 150 Gホルダー取付について

ホルダーには、躯体への取付を容易に出来るようにレベル出しピース(L形ピース)が装着されていますがホルダー取付後、必ずレベル出しピースを取り外して下さい。(図4)

レベル出しピースは、ホルダーを下側に引っ張りると簡単に外れます。

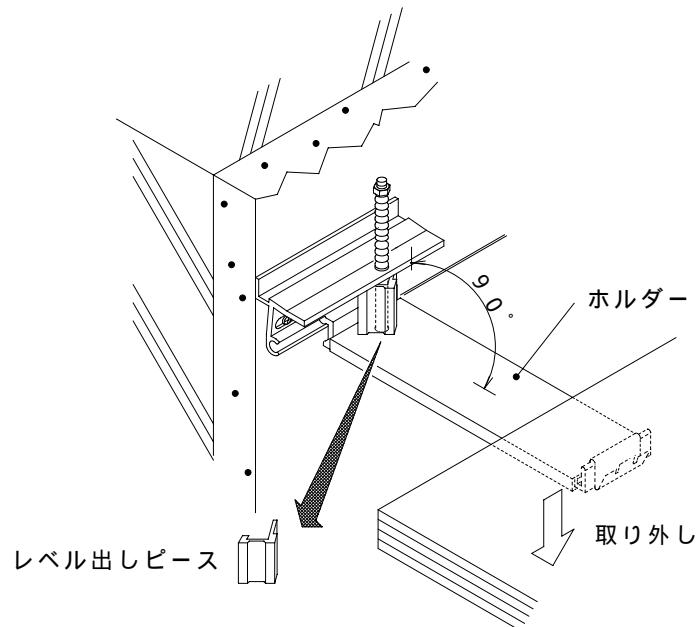


図 4

### 3 - 2 . ホルダーユニットの取付

SX (AX) - 200 G、300 G (クリアランス200、300)

- 1 . ホルダーユニットにあけられた穴をレベル墨に合わせ 6、深さ40mmの下穴をあけます。付属のフィッシャープラグを下穴に挿入し、固定ネジでホルダーユニットを固定します。(図5)
- 2 . 補助バーを野縁に載せホルダーユニットを固定します。このとき六角ナットでスプリングの強さを調節して下さい。(図5)

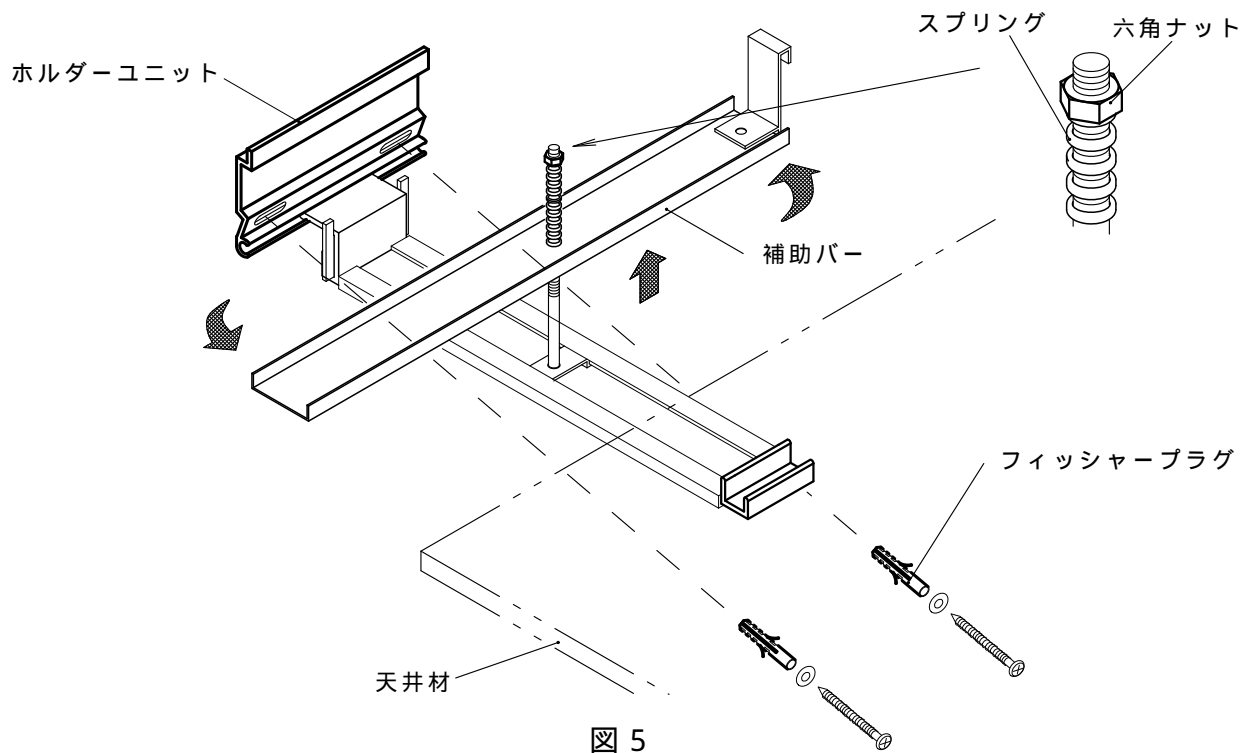


図 5

注 1 ) ホルダーの取付可能寸法は 25 mm ~ 100 mm に設計されていますので寸法に応じて必ず六角ナットでスプリングの強さを調節して下さい。

注 2 ) 補助バーを天井側の野縁に載せ内壁側のホルダー ( A 部 ) に載せるとき天井側の高さに応じて補助バーの掛ける位置を選んで下さい。( 図 6 , 7 )

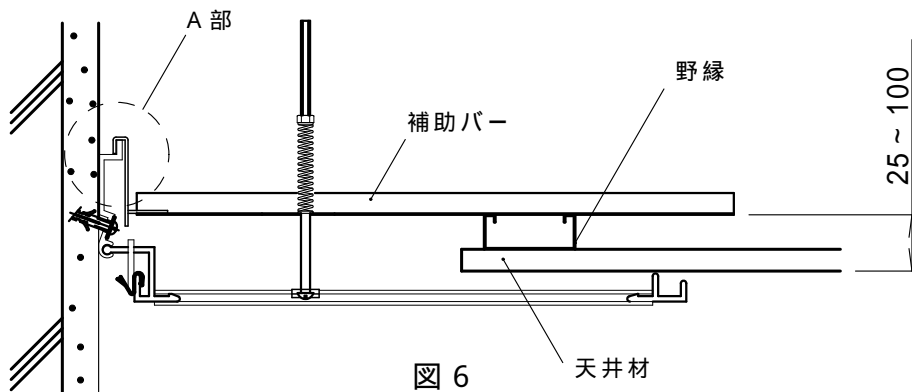


図 6

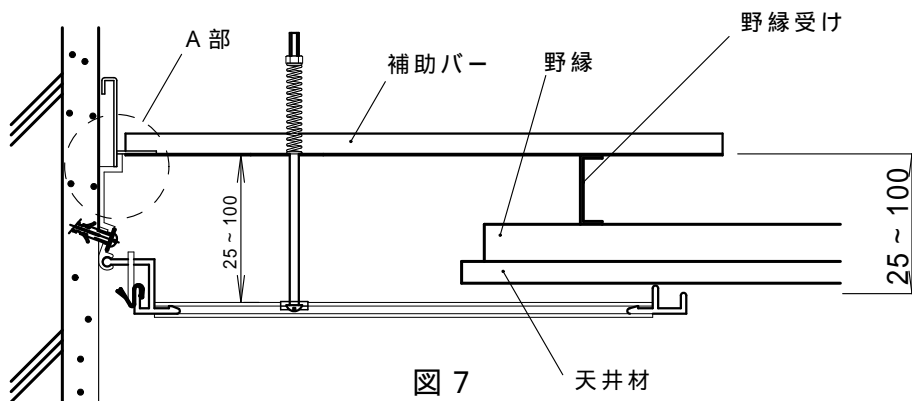


図 7

#### 4-1. カバーの取付

ホルダーユニットにカバーをかぶせ、図8のA部にカバーの片側を掛けます。次にホルダーユニットのクリップに押え付けるようにしてカバーをはめ合います。

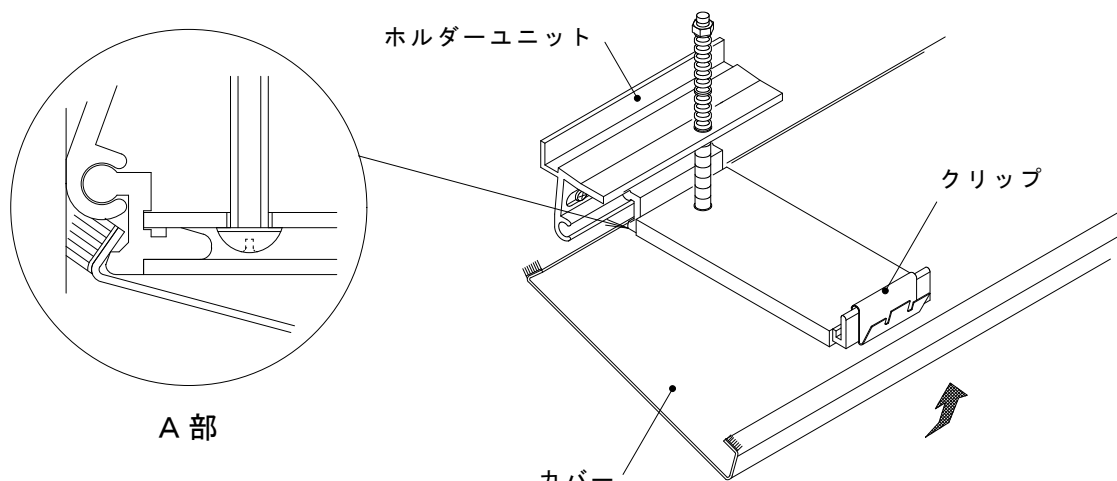


図8

※カバーとホルダーユニットのクリップがかみあいにくい場合は、No. 44-4と同じ手順で取り付けます。

#### 4-2. カバーの取付

※S X (A X) - 200 G、300 G (クリアランス200、300)

ホルダーユニットにカバーをかぶせ、図9のA部にカバーの片側を掛けます。次にホルダーユニットのクリップに押え付けるようにしてカバーをはめ合います。

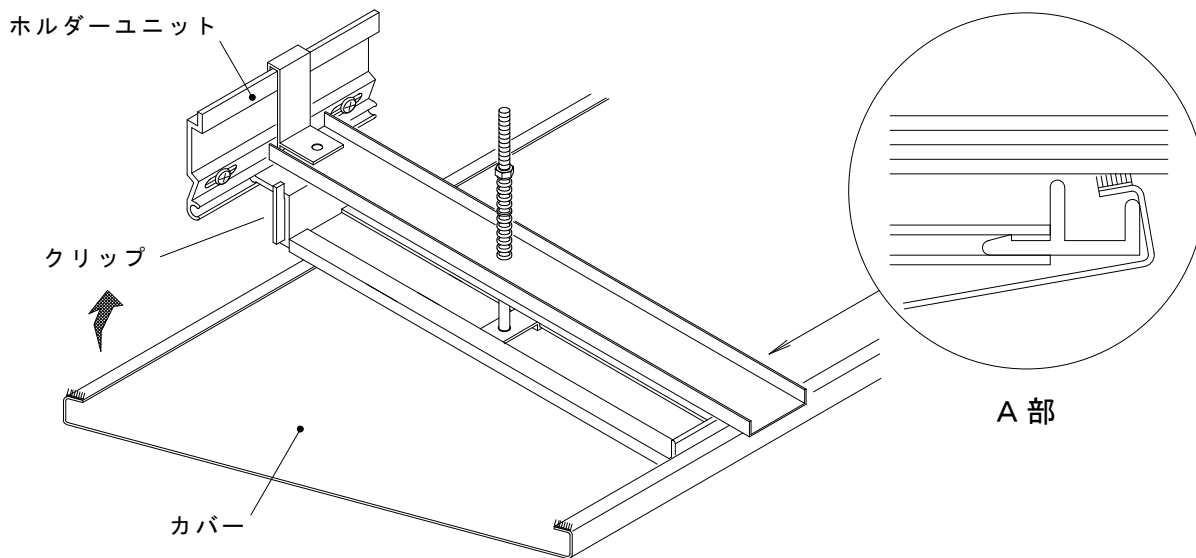


図9

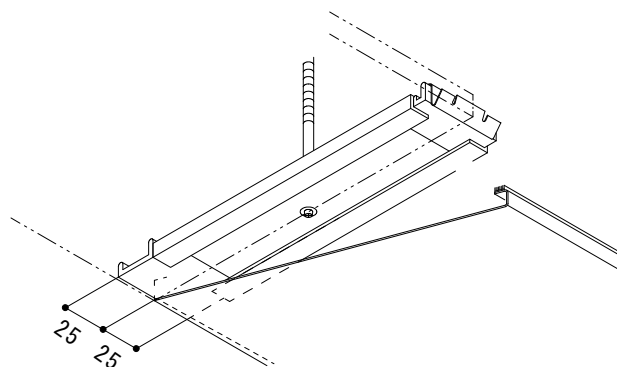


図10

5. カバーのネジ止め

※SX45-200G、及びSX(A)45-300G(クリアランス200, 300)の場合

図11のようにカバーの取付穴位置に合わせてホルダーユニットにφ3.6の下穴を明け、カバーに各々ビスで固定します。

注) カバーのジョイント部は、図10のようにホルダーに半分づつカバーが掛かるようにして下さい。

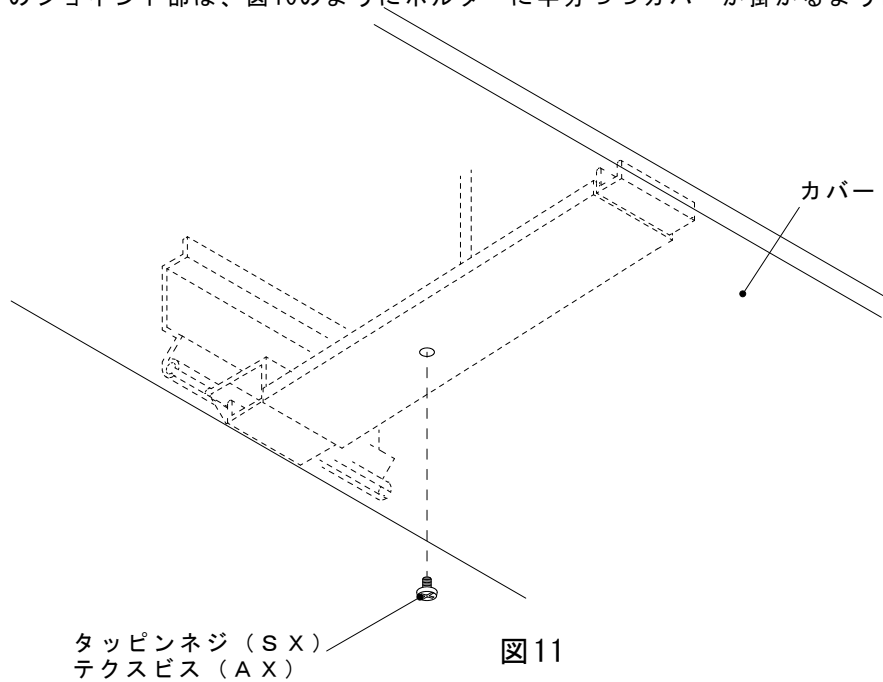


図11

取付工具の仕様方法、エンドカバー取付については、44タイプ参照。